様式2－1

令和8年9月11日

令和8年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・ 中間 ・ 最終 ）

明徳中学校区　校番 20　明徳中学校

a 学校教育目標	〈校訓〉 明るく 仲良く たくましく 〈学校教育目標〉 自ら学び ともに伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 夢や志，挑戦するために必要な力をもった生徒の育成 〈ビジョン〉 生徒を伸ばし，寄り添い，支援する教職員 地域や家庭に信頼される学校

c 中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	小中が連携し，個に応じた指導を進めており，学力の向上が図られつつある。学びに向かう姿勢が見られるものの，主体的な学びについてはさらなる充実を図る必要がある。 今年度は，「授業改善の推進」「自己有用感の育成と防災教育の深化」「安心・安全な教育環境の整備」を重点として取組を進める。

育成を目指す資質・能力	① 知識・技能　② 思考力・判断力・表現力　③主体的に学習に取り組む態度

評価計画（中期経営目標を設定してから 1 ・ 2 ・ ③ 年目）						自己評価					
						上半期			下半期		
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★	授業改善の推進	㊨ 主体的な学びを実現する授業づくり	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○子どもが進める「めいとく・トライ」の推進 ○特別支援や生徒理解の視点を取り入れた授業改善 ○ICTの効果的な活用 ○「学習フリータイム」の充実	①授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいると考える生徒の割合 ②学習した内容について，分かった点や，よく分からなかった点を見直して，次の学習に繋げることができていると考える生徒の割合	**①90%** R7 97% **②90%** R7 97%	88.9 81.5	98.8 90.6	B B			
★★	自己有用感の育成と防災教育の深化	㊨ 個を大切にした支援の充実	○生徒が主体となる，他者と関わり合う場の設定 ○生徒の「トライ」を見守り，支援する体制づくり ○職員や生徒相互が肯定的評価する（褒める，感謝する）取組 ○SEL（Social and Emotional Learning）の活用 ○生活リズムカードの活用 ○いじめ撲滅キャンペーンの充実 ○家庭・地域を巻き込んだ実践的な防災教育の取組	①自分にはよいところがあると思っている生徒の割合 ②いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合 ③地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合 ④避難する場所や仕方について理解していると考える生徒の割合	**①90%** R7 84% **②100%** R7 100% **③85%** R7 100% **④100%** R7 100%	70.4 92.6 70.4 100	78.2 92.6 82.8 100	C B B A			
		㊨ いじめを許さない学校環境づくり									
		㊨ 自分の命は自分で守る力の育成									
★	安心・安全な教育環境の整備	㊨ 教職員による不祥事の根絶	○当事者意識を高める服務研修の工夫 ○不祥事防止委員会の充実 ○対話による風通しのよい職員室づくり ○目的に沿った業務の精査 ○ICTの活用	①日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合 ②時間外在校等時間が月45時間以下の教職員の割合	**①90%** R7 100% **②80%** R7 82%	90.0 88.6	100 111	A A			
		㊨ 働き方改革の推進									

【k:評価】
A:100≦（目標達成）　B:80≦（ほぼ達成）＜100
C:60≦（もう少し）＜80　D:（できていない）＜60